



第1章 計画策定にあたって

1. 第2次ウェルネスシティ宇陀市構想策定の趣旨

『自然と共生し、歴史・文化が育む ふれあいと活力あるまち 宇陀市』を将来像とするまちづくりを展開し、2008年3月に策定された「第1次宇陀市総合計画」は、2013年3月に「後期基本計画」を策定しました。その重点施策の中の一つに「ウェルネスシティ」を掲げ、総合政策としての健康施策を有効にするため、「健幸都市ウェルネスシティ宇陀市構想」を策定（2013年度～2017年度）し、推進してきました。

本構想は、2018年12月に策定された「第2次宇陀市総合計画」の一つの施策として位置付けられ、これまでの成果や課題を踏まえ、今後さらに健康長寿の市を実現するため、「第2次ウェルネスシティ宇陀市構想」を策定しました。

2. 第2次ウェルネスシティ宇陀市構想の期間

構想の計画期間は、第2次宇陀市総合計画の前期年と同じく、2018年度から2021年度までの4年間です。

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
第2次健幸都市 ウェルネスシティ宇陀市構想				

3. 「健幸都市 “ウェルネスシティ宇陀市” 」とは

健幸都市“ウェルネスシティ宇陀市”とは、「市民の誰もが健康で幸せと思えるまちを表し、人々が身体面の健康だけでなく、生きがいを感じ、安心して豊かな生活を送れるまちをめざす」考えです。

少子高齢化、人口減少が急速に進む中、高齢になっても地域で元気に暮らせること、それ自体が「社会貢献」です。健康を維持することは、個人と社会の双方にメリット（生きがい、豊かな生活、医療費の抑制）があります。

「健幸」をまちづくりの基本に据えた政策を連携しながら実行することにより、健康寿命の延伸や医療費抑制に努めます。

4. 第2次ウェルネスシティ宇陀市構想の目標

構想の目標については、健康長寿の状況を示す指標として用いられる「健康寿命（65歳平均自立期間）」を用い、最後まで元気で長生き、“健康寿命の延伸”とします。

5. ロゴマーク

宇陀市には、悠久の歴史があり、きれいな空気、良い水、豊かな自然があります。これこそ宇陀市の大切な資源です。良い環境の中で住んでいる宇陀市のみなさんが、健康的に生活していただきたい。そういう思いを込め、構想を推進していくためにロゴマークを定めます。

このロゴマークは、豊かな自然と川、歩いていく道を表現しています。構想推進の各場面において、このロゴマークを活用し、ウェルネスシティを広めていきます。

